

改 正 案	現 行
<p>第5章 自動車の運転の方法</p> <p>第1節 安全な発進</p> <p>1・2 （略）</p> <p>3 シートベルトの着用</p> <p>(1) シートベルトは、交通事故に遭つた場合の被害を大幅に軽減するとともに、正しい運転姿勢を保たせることにより疲労を軽減するなど、さまざまな効果があります。シートベルトを備えている自動車を運転するときは、運転者自身がこれを着用するとともに、助手席や後部座席の同乗者にもこれを着用させなければなりません（その自動車がエアバッグを備えている場合も同じです。）。しかし、病気などやむを得ない理由がある場合は別です。</p> <p>(2) シートベルトは、正しく着用しましょう。正しい着用の方法は次のとおりです。</p> <p>ア シートの背は倒さずに、シートに深く腰掛けましょう。</p> <p>イ 腰ベルトは骨盤を巻くように、しっかりと締めましょう。</p> <p>ウ 肩ベルト（三点式ベルトの場合）は、首にかからないようにしましょう。また、肩ベルトがたるんでいると事故の際危険ですので注意しましょう。</p> <p>エ バックルの金具は確実に差し込み、シートベルトが外れないようにしましょう。</p>	<p>第5章 自動車の運転の方法</p> <p>第1節 安全な発進</p> <p>1・2 （略）</p> <p>3 シートベルトの着用</p> <p>(1) シートベルトは、交通事故に遭つた場合の被害を大幅に軽減するとともに、正しい運転姿勢を保たせることにより疲労を軽減するなど、さまざまな効果があります。シートベルトを備えている自動車を運転するときは、運転者自身がこれを着用するとともに、助手席や後部座席の同乗者にもこれを着用させなければなりません（その自動車がエアバッグを備えている場合も同じです。）。しかし、病気などやむを得ない理由がある場合は別です。</p> <p>(2) シートベルトは、正しく着用しましょう。正しい着用の方法は次のとおりです。</p> <p>ア シートの背は倒さずに、シートに深く腰掛けましょう。</p> <p>イ 腰ベルトは骨盤を巻くように、しっかりと締めましょう。</p> <p>ウ 肩ベルト（三点式ベルトの場合）は、首にかからないようにしましょう。また、肩ベルトがたるんでいると事故の際危険ですので注意しましょう。</p> <p>エ バックルの金具は確実に差し込み、シートベルトが外れないようにしましょう。</p>

オ ベルトがねじれていないかどうか確認しましょう。

(3) 妊娠中のシートベルトの着用

妊娠中であつても、シートベルトを正しく着用することにより、交通事故に遭つた際の被害から母体と胎児を守ることができます。ただし、妊娠の状態は個人により異なりますので、シートベルトを着用することが健康保持上適当かどうか、医師に確認するようにしましょう。

妊娠中は、事故などの際の胎児への影響を少なくするために、腰ベルトのみの着用は行わず、腰ベルトと肩ベルトを共に着用するとともに、大きくなつた腹部をベルトが横切らないようにするなど、正しくシートベルトを着用することが必要です。

オ ベルトがねじれていないかどうか確認しましょう。